

MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



2025年3月期 第1四半期

決算補足説明資料

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2024年8月8日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

会社概要	3
2025年3月期 第1四半期決算ハイライト	
業績ハイライト	4
損益計算書	5
事業別／分野別売上高	6
貸借対照表	7
DMPのPurpose	8
2025年3月期 第1四半期トピックス	9
2025年3月期 通期業績予想	10

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2024年6月1日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

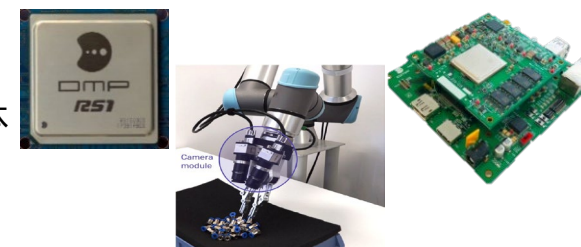
IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



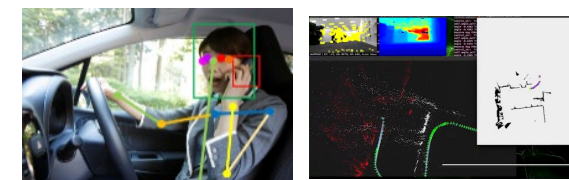
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・協働ロボット向けビジョンシステム
- ・ドローン向けカメラモジュール



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・安全運転支援システム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



- 売上高は増収、過去最高を更新
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益、上場来最高
- アミューズメント分野売上高は継続的に伸長。非アミューズメント分野売上高は、主にCambrian製品の一時的減、IPメンテナンスサポート収入減により減収も、第2四半期以降回復見込
- セーフティ・ロボティクス技術を融合した半導体製造領域、映像点検領域の市場開拓に注力

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
740 百万円 (YoY※ +6%)	21 百万円 (YoY △51%)	5 百万円 (YoY △5%)	9 百万円 (YoY △61%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
63 百万円 (YoY +93%)	711 百万円 (YoY +9%)	710 百万円 (YoY +13%)	15 百万円 (YoY △61%)
	プロフェッショナルサービス		
	7 百万円 (YoY +147%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

主にアミューズメント分野の伸長により増収増益

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額
売上高	699	740	+41
営業利益	30	64	+34
経常利益	32	63	+30
親会社株主に帰属 する四半期純利益	26	59	+32

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の堅調な出荷により、売上高は5.9%増収
- 営業利益は前年同期比+114.4%、経常利益前年同期比+93.4%、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比+124.0%とそれぞれ増益

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **21百万円** 前年同期 43百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上
- 前期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

製品事業 **711百万円** 前年同期 652百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 **7百万円** 前年同期 3百万円

- AI受託開発サービス、アミューズメント向け受託開発サービス収入を計上
- セーフティ分野、ロボティクス分野向けプロフェッショナルサービスの大半は第2四半期以降売上計上予定

● 分野別売上高

セーフティ分野 **5百万円** 前年同期 6百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入を計上

ロボティクス分野 **9百万円** 前年同期 23百万円

- Cambrianビジョンシステム等の製品売上、プロフェッショナルサービス売上等を計上
- Cambrianビジョンシステム出荷が一時的に減少。2Q以降回復予定

アミューズメント分野 **710百万円** 前年同期 630百万円

- 主にRS1の量産出荷売上を計上

その他分野 **15百万円** 前年同期 38百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上
- 前期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

自己資本比率は89.6%と高水準を維持

(単位：百万円)	2024年 3月末	2024年 6月末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,272	3,284	+11	商品及び製品 +33 売掛金及び契約資産 △24
固定資産	647	645	△1	有形/無形固定資産 △6 投資有価証券 +5
資産合計	3,919	3,929	+10	
流動負債	443	389	△54	買掛金 +58 未払法人税等 △39 未払金 △45 未払消費税等 △30
固定負債	18	18	+0	
負債合計	461	407	△54	
純資産合計	3,457	3,521	+64	利益剰余金 +59
負債・純資産合計	3,919	3,929	+10	

Making the Image Intelligent

画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する

セーフティ

安全安心社会の実現

- エッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得
- より広範なセーフティ分野向けプロフェッショナルサービスを遂行（売上計上は2Q以降を予定）



ロボティクス

製造業、運輸業等における省力化・省人化に貢献

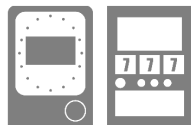
- 半導体製造装置領域において、プロフェッショナルサービスを遂行（売上計上は2Q以降を予定）
- Cambrianは、高確度商談が進捗するとともに、各種展示会への出展によるリード獲得を推進
- dSPACE JapanとRTMapsを活用したモデルベース開発（MBD）製品・サービスの拡大に向けた戦略的協業を開始。建機向けプロジェクト進行中、収益計上

画像の知能化 による社会・顧客課題の解決

アミューズメント

美しい映像表現の実現と 遊技機筐体コストの削減を両立

- 画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続
- 当社のユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大、新規顧客参入を目指す



AI/GPU IP

顧客SoCに最適な小サイズ、 低消費電力、高性能なIPの提供

- 既存IP/顧客からの安定的なランニングロイヤリティ獲得、新規案件の商談進捗
- AI IPプロセッサ「ZIA A3000 V2」を開発、ライセンス提供に目途



5月14日公表の通期業績予想に変更なし

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期	
		通期予想	増減率
売上高	3,016	3,200	+6.1%
営業利益	328	350	+6.5%
経常利益	330	350	+5.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	331	290	△12.5%

- 第1四半期は主にアミューズメント分野の活況により、売上高増収、営業利益以下各段階利益増益を達成
- 第2四半期以降、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入、プロフェッショナルサービス収入の拡大、およびロボティクス分野における製品事業、プロフェッショナルサービス事業の拡大を見込む

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。